



西原分館 『炭酸まんじゅう作り』

西原公民館のイベントで炭酸まんじゅう作り教室が開かれました。

講師は JA からお越しいただき、16人の参加者が一緒に作業をしました。そのうち一人はお子さんで楽しみながら参加していました。できあがったまんじゅうを頬張り、参加された皆さんは懐かしい味を楽しんでいました。

料理教室は地域の食文化を次世代に伝える場で、お子さんも参加して調理を学ぶことができる良い機会です。今回は伝統的なまんじゅう作りを体験できました。

◆内容

- p.18 【お知らせ】 第40回小諸市公民館まつり
- 19 えんぴつリレー (木曾茂さん)ほか
- 20 ぼくとわたしの作品 (東小学校)

- p.21 今支館・分館では (大杭分館/小原分館)
- 22 みんなの宝物 (小林貞吾記念館)
- 23 【ご案内】 10月開講講座ほか



全ページカラー版

今、小諸市に活気が戻りつつあると言われています。何が要因なのでしょう。

市内に残る古くからの街並みは要因の一つだと思います。当時の息遣いを伝えるような建物が持つ歴史は、訪れる人の目に魅力的な小諸を映し、3年連続の転入超過という結果をもたらしたのではないのでしょうか。暮らしや文化といった目に見えないものを伝えてくれる財産として大切にしていきたいものです。

遠く関西では、文化財の巨石を万博会場のトイレの柱にする計画があるそうです。保存活用のための一案のようですが、こうなると文化財が持つ歴史を語り継ぐ、という機能が損なわれてしまうように思います。古くから残っているものには相応の理由と物語があります。小諸市の今手にしつつある活気が、語り継がれ、残されてきたものが起因となっているとすれば、その物語を極力原形を留めて次に伝えていくようにしていきたいものです。

何故これはここにあるのか。とりとめもないことですが、夏の残り香と秋の気配を感じつつ考えを巡らすには、悪くないお題ではないでしょうか。

編集委員 小林 陽



第40回

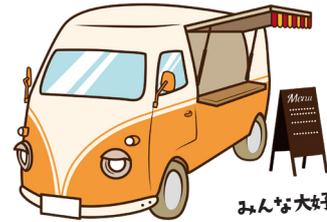
小諸市公民館まつり

小諸市公民館では、「小諸らしい」地域文化の発表の場として公民館まつりを開催します。

※ 詳細は10月号でお知らせします。

10/12 (土) 9:00 ~ 16:00

13 (日) 9:00 ~ 15:00



みんな大好き
ラーメンやクレープなど
キッチンカーがやってくる!

場所：小諸市文化センター(小諸市甲1275番地2)

内容：作品展示 / ホール発表 / 体験コーナー / マルシェ / キッチンカー

参加者募集!

小諸もろもろ塾 (体験コーナー)

小諸もろもろ塾(体験コーナー)には、定員があるものがあります。

申込みは、9/11(水)~20(金)。平日9:00~17:00、
公民館窓口及び電話・インターネットで受け付けます。定員を
超えた場合は、抽選となります。

※定員に余裕がある場合は、当日参加可能です。



小諸市文化センター

12日(土)

麻油で

石けん作り 定員5名

●10:00~12:00

手づくりクラフト

●10:00~12:00 ●材料 100円

ヨガ 定員5名

●10:00~11:00

スポーツウエルネス吹矢

●10:00~12:00

銭太鼓

●10:00~11:00

太極拳 定員5名

●11:00~12:00

マジック 定員15名

●13:00~15:00

フラダンス 定員10名

●13:00~14:00

おさがり会(服・おもちゃ等)
& 親子工作

●13:00~15:30

13日(日)

大正琴 定員10名

●10:00~12:00

手話ダンス

●10:00~14:20

そば打ち 定員12名

●10:00~12:00 ●材料費1,300円

体験作り

太極拳 定員7名

●11:00~12:00

2日間

アロマコーナー(ハーバリウム作りなど)& 筆文字

●12日(土)9:00~16:00 13日(日)9:00~14:30 ●材料費 500円~





最近テニスと言えば錦織圭、大坂なおみが世界で活躍しており、国際大会ではウィンブルドン大会や全米オープンが有名です。国際的な避暑地である軽井沢では上皇陛下と上皇后陛下のロマンスで有名な旧軽井沢テニスクラブが

『Let's play tennis!』
小諸市テニス協会理事長
木曾 茂



長野県では広く知られていません。2009年には乙女湖テニスコートでも女子の国際大会が行われました。

1970年代にはテニスブームとなってテニスをしていない人までもが、ラケットを持って軽井沢を歩いている程でした。当時軽井沢には、民宿のコートが200面もありました。市内では御影新田の池の前山荘に7面コートがあり、東信一円から20程のクラブに約500名が所属し、社会人がナイターで週1〜2回、汗を流して活動していました。県の各種大会、県選手権大会、国体予選等に参加する一方、池の前クラブ主催の春秋、シングルス、ダブルスの大会には、約500人が参加し競技が2日間に渡る時もあり、勝者には市長杯が授与されました。

最近では乙女湖公園テニスコートでスポーツ協会が主催する初心者教室、同協会が共催する春秋の大会を開催、昨

年10月の乙女湖紅葉テニス大会は、参加者55名が朝から夕方暗くなるまで楽しみました。大会には教室の生徒さんも参加し大活躍しました。

テニスは子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツです。当会会員も小学生から77歳までレディーズを含め現在75名の仲間がLINEで繋がって活動しています。

今回の教室でも小学生から50代までの幅広い世代の方々が健康管理や選手を目指す等目的に沿ってテニスを楽しんでいきます。

シーズン初めのコート整備には、ライン貼りのため、ラケットをハンマーに持ち替え



て汗を流します。

私達スポーツ協会テニス部はサードプレイスを乙女湖コートとし、ウエルネスシテイこもろを目指して「この一球」を追っています！

松本藩森重流砲術
重興 市川忠一

「彌美登里神社例大祭」
鉄砲の里からのお知らせ

小諸市耳取区(耳取村)は、江戸時代火縄銃製造の地で、江戸幕府や小諸藩へ銃を納めていました。

彌美登里神社境内は角場(射撃場)と呼ばれ、小諸藩主を招いて火薬の実験をした場所でした。

(詳細は令和6年公民館報1月号)

ここで皆様にお知らせです。来る10月6日(日)正午より彌美登里神社例大祭第6回古式砲術奉納演武が執り行われます。奉納者は、本年も松本藩森重流砲術保存会の皆さんです。

― 追 伸 ―

午後2時からの神事の後の浦安の舞も必見です。



「空の上」

5年1組

こやま 明凜
小山

私がこの作品を作ったときに工夫したことを2つ書きます。

1つ目は、色をだいたいの色でまとめることです。色をまとめると、絵の全体がまとまります。そして、少ない色でやるといろんな絵の練習にもなります。全体の色をまとめることで、たくさんメリットがあるのでとてもやりやすい絵の描き方です。そして、2つ目は、手前、中間、奥を

意識することです。この3つを意識すると、絵に立体感が出て、奥行きのある絵になります。そして、もっと奥行きや空間を広く見せたいなら、寒色系の白や、それに近い淡く明るい色をつけると、奥行き、空間を広く見せる絵ができるそうです。私は、この花の絵を気に入っているので、今でも自分の部屋のかべにかざっています。



「糸のこの戦い」

5年2組

つちや りな
土屋 璃七

私は、図工の時間に糸のこを使って、伝言板を作りました。まずは図案を考えます。「どんな絵にしようかな。ホワイトボードはどこに付けよう。」と考えた結果、「顔」にしました。

次に絵の具で色をぬります。また私は「顔の色は何色にしようか」と悩みました。「オリジナルにしよう!」と考え、黄色で塗り、ホワイトボードをマスク形にしました。

次に糸のこです。最初はとても不安でしたが、「糸のこが動いている所に指があると危ないので注意しよう。」というアドバイスをもらって、いざ挑戦。「形が丸くて難しそう。」と思いましたが、先生と一緒に取り組み、上手いきました。でも、手がブルブルしてびっくりしました。

次にマグネット作りです。形は丸、絵はのり付きのおせんべいにしました。これも糸のこで切ったので、小さくて大変でした。

完成した作品は、クラスのお友達に「かわいいね。」「すごい!」とほめられてうれしかったです。



「まぼろしの花」

5年3組

いたがき さくら
板垣 桜

私は4年生の図工で、初めて、いろいろな技法を知りました。

この作品で使った技法は、主に、ふき流しです。

最初にこの図工での作品は、どんなものが良いかと考えたとき、「ふうりんとろうそくで仕切ってあって、上は暗やみ、下は、主役の花を大きくかいて、まわりにかわいいお花を書いたらどうだろう?」と、思いました。私は、その思いついたことを参考にして、下書きを先生に見せると、「いいかんじですね!」と言われました。

色は、「どうしよう?」と思いましたが、「星と言ったら…」[「ここは、ちょっと色を変えてみよう!」などと思いうかべて、ふうりんも、ろうそくも、1本、1本、こまかく、書きました。]

私は、自分が、こんな作品を書けたなんて、びっくりしました。けれど、自分の思う通りにできたことは、本当なので、これからも、「自分を信じて前に進もう!」と思いました。



今支館・分館では

「公民館は憩いの場」
— 大杭分館 —



プロ（地元の建築業）の皆さんにご指導いただき、砥石を使った刃物研ぎの体験をするともに、ベンチでお茶を飲みながら久しぶりに会う知人や友人と楽しい時間を過ごしていただくなど、区民の皆さんの親睦の機会にもなっています。

しかし、毎年参加いただいていたお婆ちゃんが来られなくなったり、結婚してお嫁さんとして村に来た方がお子さんと一緒に参加してくれたり、参加する皆さんの顔ぶれも年々変化し、時の流れの速さに驚くことが増えました。

また、最近では、地域コミュニティが希薄化していると言われていますが、大杭分館では「刃物研ぎ講習会」や「どんど焼き」、「夏祭り」などを企画・開催することで、地域の絆を深める取り組みをしています。

昨年は新型コロナウイルスがら類に移行したということもあり、「夏祭り」には区民の皆様をはじめ親戚など、「こんなに大杭に人がいたのか！」と驚



くほど大勢の皆さんに参加いただきました。生ビールなどを飲んだり、焼き鳥や焼きそばを食べたり、くじ引きをしたり、昔話や近況を報告しあうなど、時間を忘れて大変盛り上がりました。

この夏祭りには、分館役員をはじめ、長生会（老人会）や地元消防団の皆さんなどにご協力いただき開催していますが、今後も、引き続き区民の親睦がより一層図れるよう、楽しいイベントを企画・開催していきたいと思えます。

大杭分館主事 山浦 謙一

「六道地藏尊」

— 小原分館 —



毎年7月23日に六道地藏尊まつりが開催されます。今年度は、小原公民館部員などが中心となり、焼きとり、焼きもち、フライドポテト、炭酸まんじゅうなどを作り、販売しました。暑い中でしたが、多くの区民で賑わいました。

小原の六道地藏菩薩は、古くから村の入口に立って村を守ってくれている優しい菩薩です。中央の大きな地藏尊は、慶安3年（1650）2月とあるので江戸初期の造立とみられます。その昔、旅人が追いはぎに襲われた時に身替わりになって助けた時の傷跡が、肩の傷だと言う伝説があり、身替地藏と呼ばれています。この地藏に小麦粉を塗るとその部位の病気に効くと信



じられています。

また、この地藏は小原の相畔寺との関係もあって言われていて、このお祭りの時には抜苦山相畔寺のお札も売られています。江戸時代に端を発し、今もなお、行なわれているこのお祭りが、この先も長く続いて欲しいと願うばかりです。

本館主事 中澤 栄二



みんなの宝物

「夭折の彫刻家」

小林貞吾記念館

(諸区)

小林貞吾は、若くして彫刻の才能を発揮し、日本美術院展に多くの作品を選出されるという業績を残しましたが、昭和19年に中国の野戦病院で戦病死という悲劇的な最期を迎えました。30歳という若さでした。

大正2年に小諸市諸で生まれた小林貞吾は、子どもの頃から木彫りに才能を示し、小学校の先生とのお子さんから影響を受けて彫刻を始めました。彼の家は農家で、兄弟



も多く、経済的な余裕はありませんでした。その後、東京にある日本美術院の吉田白嶺の内弟子になり、その指導のもとでデッサンを学び、本格的に彫刻の道へと進んでいきました。入門してから3年目には、第20回日本美術院展(院展)の彫刻部門に初入選し、その後8回の入選を果たすという栄冠に輝いています。当時の信濃毎日新聞には、その偉業が伝えられています。

戦時中は軍神像を共同で制作し献納したと伝えられますが、敗戦とともに処分されたようです。代表作としては、18歳の時に入選した「ミ

ズク」、その後、昭和10年の「農夫」を始めとして、「耕す人」「老人」「若者」「老樵」「少年の像」「首」「親子」や「八幡船の男」などがあります。当時、経済的に余裕がなかった彼は、身近な親族などをモデルとして作品を作りました。素材は主に木ですが、ブロンズ作品もあります。戦時中のため、ブロンズは入手が難しかったようです。

作品をじっくりと見てみると、モデルとなった人物の心情が伝わってくるような気持ちになります。



昭和57年、小林貞吾の作品が散在することのないよう展示する場所を作るという目的で、若くしてこの世を去った貞吾の慰霊のため、貞吾の兄で初代館長の小林重雄さんと現館長の小林多喜男さんが中心となって貞吾が子どもの頃よく遊んでいた場所に記念館を建てました。

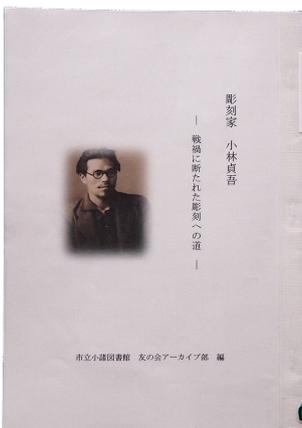
念願叶い建てられた記念館には、日本美術院展入選彫刻をはじめ、デッサン画や木彫りの小物など多くの彼の作品が常設展示されています。入館料は無料で、事前連絡にて館長が対応してくれます。周辺では、館長の力を入れている花木の植栽を見ることも

できます。

小林貞吾に関する書籍としては、「彫刻家 小林貞吾遺作集」、小諸図書館友の会アーカイブ部が編集刊行した「彫刻家 小林貞吾 戦禍に断たれた彫刻への道」などがあります。これらの書籍は、小諸図書館にあります。郷土が生んだ彫刻家、小林貞吾の歩んだ道や作品を多くの人々に知っていただき、資料として後世に残していきたいという思いが込められています。

彼の生涯に思いを馳せながら、記念館で見た作品を思い起こし、このような作品を後世に残していきたい、多くの人に知っていただきたいと強く思いました。ぜひ記念館を訪れてみてください。

編集委員 白鳥 聖一
小林貞吾記念館
所在地 小諸市諸16-1
連絡先 0267-221-8376





や運転・歩行能力判断システム「点灯くん」などの交通安全機器の体験をさせていただきました。ご自分の判断能力を確認するなど、楽しみながら交通安全について考える良い機会となりました。



報告

公民館講座

「こもろシニア教室」

7月19日(金)のシニア教室では、「高齢者のための交通安全教室」を行いました。最初に小諸警察署、山岸交通課長さんから反射キャッチバンドの使い方などを教えていただき、その後、NPO法人「トラフィックシスターズ」の皆さんによる寸劇を楽しみました。3兄弟のユーモアあふれる会話に終始笑い声があふれました。その後、交通安全シミュレーター

10月開講講座のご案内

申込みは、平日 9:00 ~ 17:00。申込多数の場合は、初めての方を優先し、公民館にて抽選します。また、申込みが少ない場合など、講座が中止や変更になることがあります。こもろ女性の家講座は、託児を予定しています。

〒小諸市文化センター
TEL 0267-23-8880



こもろ女性の家

話し方教室

アナウンサーに学ぶ魅力的な話し方のコツ【火曜日・全3回】

講師：コミュニティテレビこもろ 後藤理恵

◇日時 10/29、11/12、19 10:00 ~ 11:30

◇場所 会議室

◇定員 10名

◇費用 無料

◇持ち物 筆記用具

◇申込 9/13(金)~ 27(金)

市制施行70周年 文化会館開館40周年記念

第37回 小諸市民音楽祭

スペシャルゲスト

音楽のまち・こもろ

▶日時 **2024.9.29 (SUN)**
開演 13:00 (開場 12:30)

▶会場 小諸市文化会館ホール 入場無料

▶出演予定団体 (順不同)

坂の上小学校合唱班 / 東小学校吹奏楽部
水明小学校合唱部 / 小諸合唱団 / 浅間山麓男声合唱団
コール・フローラ小諸 / 小諸童謡唱歌をうたう会
合唱団小諸ハーモニー / ゴスぺるん♪こもろ
小諸市消防団音楽隊

▶主催 小諸市
小諸市文化会館自主事業実行委員会



嶋田多華子 (ソプラノ)



田中美恵子 (ヴァイオリン)



小池典子 (ピアノ)



長野県警察音楽隊

〒 小諸市文化会館 ☎ 0267-23-8880

施設予約開始

9/2月

施設名	利用月	施設名	利用月	施設名	利用月
公民館・こもろ女性の家 (貸出備品含む)	R 6/11	乙女湖体育館	R 7/3	文化会館	R 7/9